

# 全日本中学校技術・家庭科研究会

## 第23回 全国中学生創造ものづくり教育フェア

### 創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会実施要項

#### 1 目 的

- (1) 中学校技術・家庭科での学習した知識や技能を生かし、ロボットの設計・製作を行い、その成果の発表の場とするとともに、知識や技能の向上を図る。
- (2) コンテストはひとつの授業の場として、参加者が互いに工夫点や機能性、構造等を学びあえるようにする。また、ものづくりに取り組んできた全国の中学生の交流の場とし、得点至上主義に走らず、発想や製作技術・努力を評価し合う。

#### 2 方 式

地区大会は各地区大会の運営に準ずる。対面方式、オンライン方式で代表を選出してもらう。  
全国大会は対面方式で行う。オンラインによる競技は実施しない。競技はトーナメント対戦とし、PR動画やPRタイムなど総合的に判断をして、賞を決定する。

#### 3 期 日

令和6年1月20日(土)・21日(日)

#### 4 会 場：中央区立総合スポーツセンター（中央区立浜町体育館）

- (1) 1月20日(土) 競技・部門表彰式
- 1月21日(日) 全体表彰式（全体表彰式に参加する学校のみ）

#### 5 競技部門

- (1) 基礎部門 「Ace in the hole3」  
中学校技術・家庭科の授業の基礎的・基本的な知識や技能で製作できるロボットの部門。  
中学3年間で1度のみ参加が可能。→ 令和5年度は複数回参加に変更
- (2) 計測・制御部門 「ワクワク!ロボット定植 ～「スマート農業」に挑戦!～」  
中学校技術・家庭科の授業の基礎的・基本的な知識や技能で参加できるロボットとプログラミングの部門。中学3年間で複数回参加が可能。
- (3) 応用・発展部門 「もっと支援物資を運搬せよ!」  
中学校技術・家庭科で学んだ知識や技能を最大限に発揮して製作されたロボットの部門。  
中学3年間で複数回参加が可能。
- (4) パフォーマンス部門  
技術・家庭科の全内容を対象にした動画作品部門。例えば栽培育成の記録や地域の料理を紹介するなど授業の取組を動画として発表する。

#### 6 日 程

0日目(19日:金)ー 中央区立総合スポーツセンター  
会場準備 16:00～  
出場の公平性を守るため、会場の前日の下見を禁止します。  
1日目(20日:土)ー 中央区立総合スポーツセンター  
役員集合 8:30～  
役員打合 8:45～  
受付 9:00～ 9:20

詳しい当日の流れは12月頃に確定してアップします。

開会式 9:30～10:00

- ①開会の言葉 ②事業部長挨拶 ③来賓挨拶 ④審査員紹介及び挨拶 ⑤選手宣誓 ⑥会場使用上の注意
- ⑦閉会の言葉 諸連絡

ルール確認 10:00～10:30 (ルール確認担当生徒各チーム1名まで)  
車 検 10:10～10:40  
競技(予選) 10:50～12:50 3部門×8ブロックの予選リーグ  
昼 食 12:50～13:50

競技(決勝) 13:50~15:30 決勝トーナメント

閉会式 16:00~16:30

①開会の言葉 ②結果発表 ③表彰 ④講評 ⑤閉会の言葉 諸連絡

\*以下の賞を受賞したチームは、2日目の全体表彰式に参加してください。

文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、特許庁長官賞、(公財)つくば科学万博記念財団理事長賞、全日本中学校技術・家庭科研究会会長賞、(一社)日本産業技術教育学会会長賞、(公社)全国中学校産業教育教材振興協会会長賞

2日目(21日:日)ー中央区立総合スポーツセンター

\*全体表彰式に参加する学校のみ。

役員 集合 10:30~(本部役員)

受 付 11:20~

リハーサル 11:30~

表 彰 式 12:00~

## 7 参加資格・申し込み方法

- (1) 各都道府県の中学校に在学する生徒で、校長及び都道府県技術・家庭科研究会長が参加を認めた者とする。
- (2) 各ブロック大会において選抜され、ブロック中学校技術・家庭科研究会会長の推薦を受けたものとする。
- (3) 申し込みについては、創造アイデアロボットコンテスト全国大会のWebページを参照してください。  
(<http://ajgika.ne.jp/~robo/>)

## 8 参加費について

参加費については、各部門1チーム2,000円を受付時に徴収します

## 9 参加チーム数

- (1) 「基礎部門」「計測制御部門」「応用発展部門」 各24チーム  
北海道ブロック 3 東北ブロック 3 関東・甲信越ブロック 3  
東海・北陸ブロック 3 近畿ブロック 3 中国・四国ブロック 3  
九州・沖縄ブロック 3 運営担当枠 3  
※運営枠 東京都(全体)、埼玉県(全体)  
九州・沖縄地区(基礎部門・応用発展部門) 中国・四国地区(計測・制御部門)  
※欠員が出た場合の補充は行わない。
- (2) パフォーマンス部門 各ブロック5チーム

## 10 競技とPRについて

- (1) 競技内容については、「創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会公式HP」を参照してください。
- (2) 大会は対面方式による会場参加となります。
- (3) 競技終了後、敗者チームは審査員による質疑応答に答え、ロボットのPRを行う。

## 11 使用機器→株式会社SSマーケットよりレンタル

- (1) 本部は各部門2台で3部門合計6台と編集用1台の計7台
- (2) 審査員が使用するiPad3台

## 12 表彰について

文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、特許庁長官賞、(公財)つくば科学万博記念財団理事長賞、全日本中学校技術・家庭科研究会会長賞、日本産業技術教育学会賞、(公社)全国中学校産業教育教材振興協会賞、審査員特別賞、競技順位賞(1位~3位)

## 13 審査の基準について

製作したロボットの、機構、機能、効率、工夫や創造、加工精度や操縦技能、チームワーク等を審査し、試合の勝敗を加味しつつ審査するものとする。また部門により特性があるので、部門に応じて審査項目および配点を決定する。

## 14 各都道府県ロボコン担当者又はフェア担当者のメーリングリスト登録について

各都道府県ロボコン担当者又はフェア担当者は、メーリングリストの登録手続きを必ず行ってください。詳細につきましては、Webページをご覧ください。

- 15 保険の加入について  
競技参加者・表彰式出席者は、教員引率の場合は日本スポーツ振興センターの保険対象 となります。  
保護者引率の場合は、その対象になりませんので旅行保険等へ加入してください。  
(インターネットで、「国内旅行保険」で検索してください。)
- 16 質問・問い合わせ  
各都道府県ロボコン担当者又はブロックフェア担当者を通して問い合わせください。ルールについては、ロボコングループメールにて対応します。各都道府県ロボコン担当者やブロックフェア担当者には問い合わせないでください。グループメールへの参加はWebページで確認してください。
- 17 その他  
① 新型コロナウイルス感染症における対応で要項の内容が変更する場合があります。

問い合わせ  
全国中学生創造ものづくり教育フェア創造アイデアロボットコンテスト運営事務局  
江戸川区立春江中学校 村山 瑛雄  
〒132-0003  
東京都江戸川区春江町2-47-1  
TEL 03-3678-9241  
E-mail : aidea.robokon@gmail.com